

学校教育目標	「自分で考え 表現し 挑戦し続ける子」 (知) 自分の人生を自ら切り開いていける最大の力としての知性を培います (徳) 他者のいるよさを実感し、その実感に基づく心からの他者への尊敬・信頼の念を育てます (体) 個々の状況に合わせて、生き抜いていく強さを身に付けます (公) 集団でいることのよさを実感し、その集団に属することへの誇りに基づく公共心を育てます (開) 国際社会で堂々と主張できる態度と内容を育てます				
	学校概要	創立 144 周年	学校長 富田 操	副校長 佐藤 直子	2 学期制 一般学級: 9 個別支援学級: 2
児童生徒数: 234 人		主な関係校: 飯島中 大正中 南戸塚中 飯島小			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	飯島中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <問題発見・解決能力> <情報活用能力> <公共心と社会参画力>	飯島中 飯島小 千秀小	・学びの基盤を育み、体験的学習や課題解決的学習に主体的に取り組み、互いに高め合い自分の考えを広げたり深めたりする子。・多様な「体験」や「人・もの・こと」とのつながりを通して、豊かな感性と自立心、他者を思う優しさをもつ子。・横浜を愛し、地域や社会が良くなるために、他者と協働し、夢や目標の実現に向かって行動する子。 ・義務教育を終える段階で身につけておくべき資質・能力を明確化し、その具現の視点をもって各教科等の改善・充実を図る。・児童・生徒一人ひとりの課題や教育的ニーズをきめ細かく捉え、ニーズに応じた指導・支援を行う。 ・地域の人的・物的資源を活用し、社会教育との連携を図り、子ども像を社会と共有・連携しながら実現させる。

中期取組目標	◎【自ら考え 表現し 挑戦し続ける子】 ・児童が、自分で自分の人生を切り拓いていく礎となる知性を身につけるために、また集団でいることの喜びや価値を実感できるように児童が「わかろうとし続ける意欲を引き出す」授業をおこないます。 ・児童が安心して学校生活を送れるように専任を中心とした組織による迅速で的確な対応ときめ細やかな個別の対応を行います。 ・保護者の学校に対する信頼感を確かなものにするため、分かる授業・様々な形での情報の発信・的確な対応を行います。 ・児童が地域を「自分たちのまち・ふるさと」と思えるような地域との関わりを目指し、地域の人・もの・ことに積極的に関わります。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 学力向上委員会	①家庭学習と連結したマナビータイムの推進及び、スモールステップでの習得状況の把握を通して、基礎・基本の徹底を図る。②課題把握・自力解決・集団での思考の磨き合い・課題解決の学習スタイルの導入を進め考える力の育成を図る。合わせて、言語活動の活性化・学習力の育成も視野に入れていく。
豊かな心 担当 子ども部会	①スマイル活動、あいさつ運動、地域との交わり等、多くの人との交流の機会を大切にし、心の満足感のもと、自分の居場所づくり、人への思いやりの心を高めていく。②道徳教育の充実、体験的活動の充実を進め、全人的な情意の育成を図るとともに、社会生活における道徳的実践力・判断力の育成も図っていく。
健やかな体 担当 すこやか部会	①体力テスト等各種検査に基づいた体育科授業の改善を図り、運動のもつ良さの体験を重ね、運動意欲を高め、調和のとれた身体の成長を図る。②多様な運動機会を提供し、運動生活の日常化を図り、逞しい心身の育成につなげる。③各種防災・安全に関わる教育の中、危機意識の育成・健康生活の良さの実感を図る。
児童生徒指導 担当 児童支援専任	①学校生活のあらゆる場面で児童に寄り添い、児童の多様な理解を進める。②各種調査の定期的・継続的な実施をし、課題の把握、課題を抱える子への共通した全校サポート体制を一層整備していく。③家庭、児童育成に関係する機関との連携を密にし、社会全体で育成を図っていく。
教育課程 学習指導 担当 教務部	①「児童がわかり続けようとする」指導を目指し、重点研究を中心に、すべての児童に「分かる」ことの喜びや価値を実感させ、学習成就感を高めることができる授業力向上を目指す。 ②「わかる喜び」が結果につながるような基礎基本の習得も同時に大切にし、進めていく。
地域連携 担当 特色研究部	①学校運営協議会の学校理解を今まで以上に図り、経営への参画・協議会からの発信を進めていく。 ②チーム千秀・PTAを中心として、地域・家庭の教育力の学校教育への積極的な導入を図る。特に、周年行事の推進・実施においては、学校・保護者地域が一体となって進めていく。
特別支援教育 担当 特別支援教育部	①インクルーシブ教育の推進を図り、個々の子どもに合った形での多様な交流を進める。②個別支援教育の充実については保護者の理解を図り、保護者と共同歩調を重視して経営を実践していく。 ③困り感をもった児童への共感的支援を進めるため、組織的な取り組みの整備を図る。
安全教育 担当 防災部	①避難・防犯訓練を、訓練のための訓練でなく現実として起こりうる状況を際限まで想定した上で行う。②教職員だけでは対応しきれない状況をどのようにサポートしていただくかを想定した上で、地域・保護者の方の支援を仰ぐ体制作りを推進していく。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①常に、教職員が児童・保護者地域等多方面・他視点から情報を受け取ることができるように信頼関係を構築し、その情報をもとに迅速に対応します。②いじめに関わった児童全員がそれぞれに納得し、前向きに生活を始め、よりよい関係をつくっていけるように支援・対応をしていきます。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 管理職	①メンターの研修、中堅教師の研修等、それぞれのキャリアに応じた教師力の育成を図る。 ②職員全体が学校教育目標の具現をめざす目的集団となることを目指し、自由で闊達な情報交換やコミュニケーションがとれる職場づくりに勤める。 ③勤務の仕方の見直しを進め、時間管理の意識をさらに高めることで働き方を改革し、教職員のワークライフバランスの実現を目指す。